

2024年10月

言ふまでもなく飲み会のこと暑気払ひ

演出か甚平の手に渋団扇

喫茶店は避難所となり猛暑の日

すててこをリラコと呼んで町歩く

音は若いね風鈴古びても

泣いた子が笑つたやうに夕立止む

片蔭を渡り歩いて猛暑の日

日焼けより焦げると言ひたき猛暑かな

先頭が止まれば止まり蟻の列

息絶えてなほも岩魚の顎威張る